

奈良県における結核の現状 について

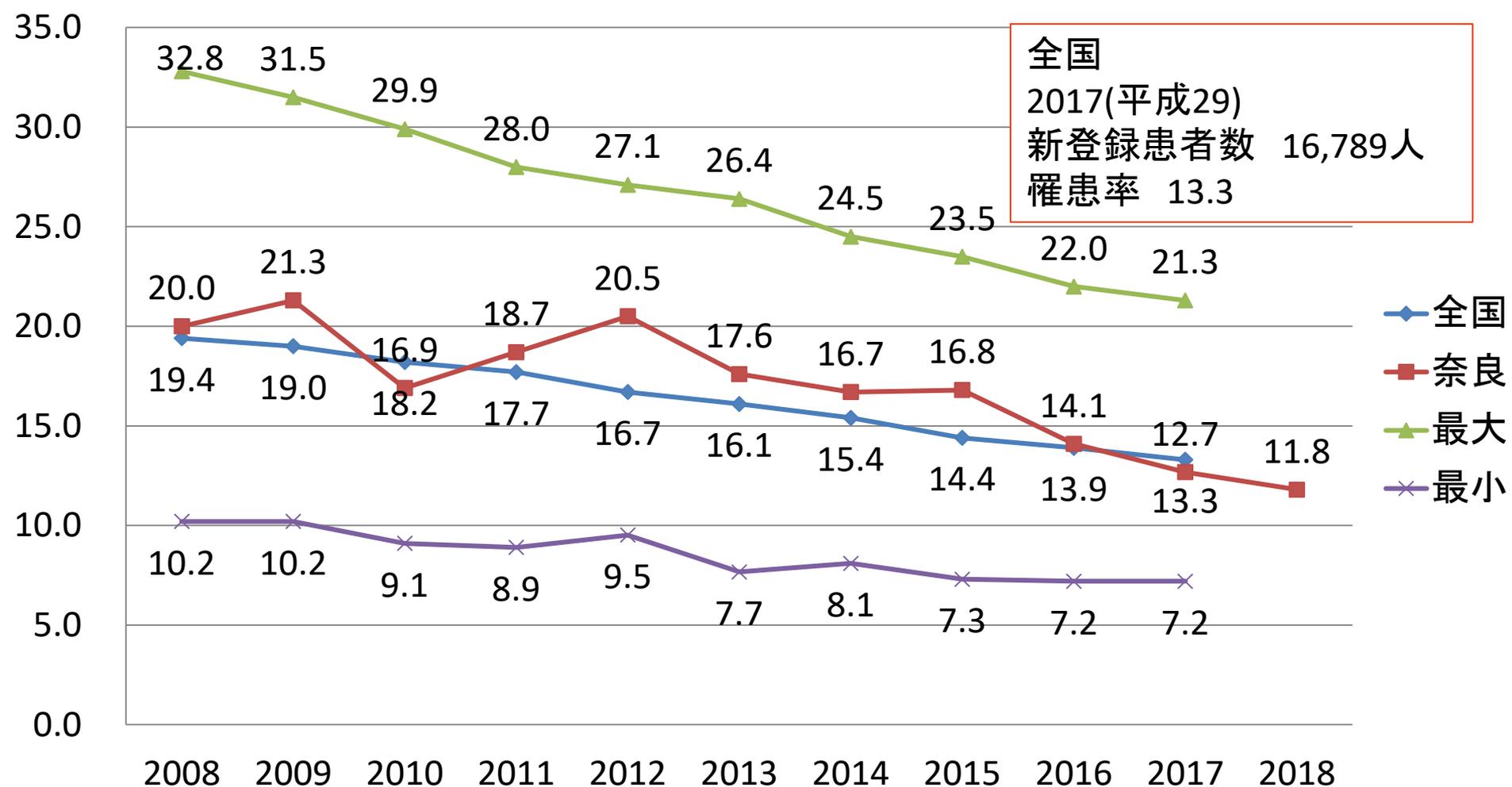
平成31年2月20日(水)
奈良県結核対策推進協議会

目次

- ①2017(平成29)年 結核患者の発生状況について
- ②2017(平成29)年 結核における治療について
- ③2018(平成30)年 結核患者受け入れ状況について

①2017(平成29)年 結核の発生状況について

結核罹患率の推移



奈良県 2017(平成29)年
新登録患者数は171人、罹患率12.7

※2018は速報値

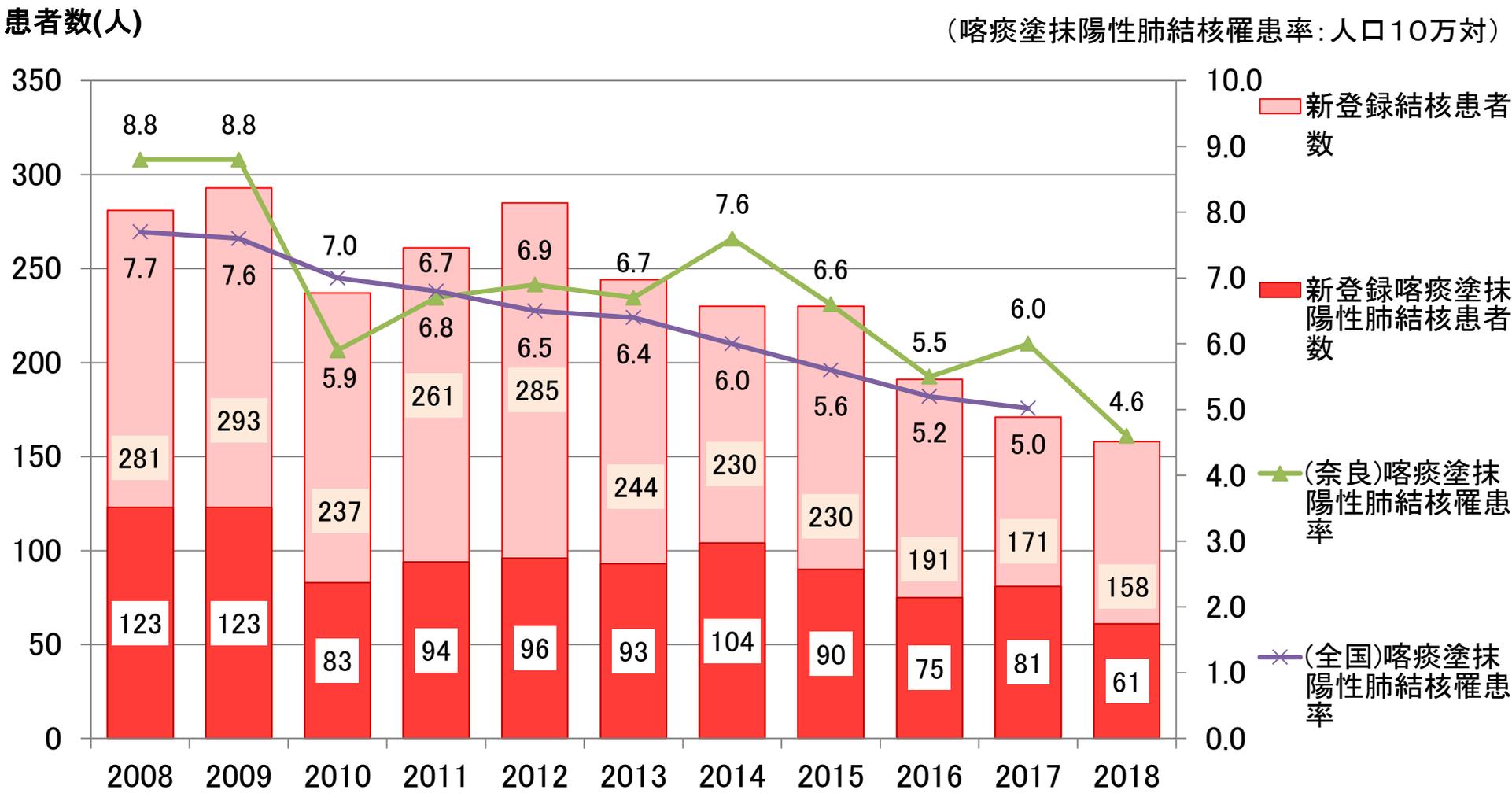
(罹患率:人口10万対)

2017(H29)年近畿各府県の 全結核罹患率・喀痰塗抹陽性肺結核罹患率

府県名	全結核罹患率 (全国:13.3)	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率 (全国:5.2)
滋賀県	11.8 (21位)	4.0 (14位)
京都府	15.8 (42位)	6.6 (46位)
大阪府	21.3 (47位)	9.0 (47位)
兵庫県	15.9 (44位)	5.7 (39位)
奈良県	12.7 (29位)	6.0 (44位)
和歌山県	14.7 (39位)	6.1 (45位)

滋賀県を除き、近畿地区の各府県は結核罹患率等が高い

奈良県 新登録結核患者数 / 新登録喀痰塗抹陽性肺結核患者数(率)



2017(平成29)年は新登録患者
171人中81人 (47%) が喀痰塗抹陽性

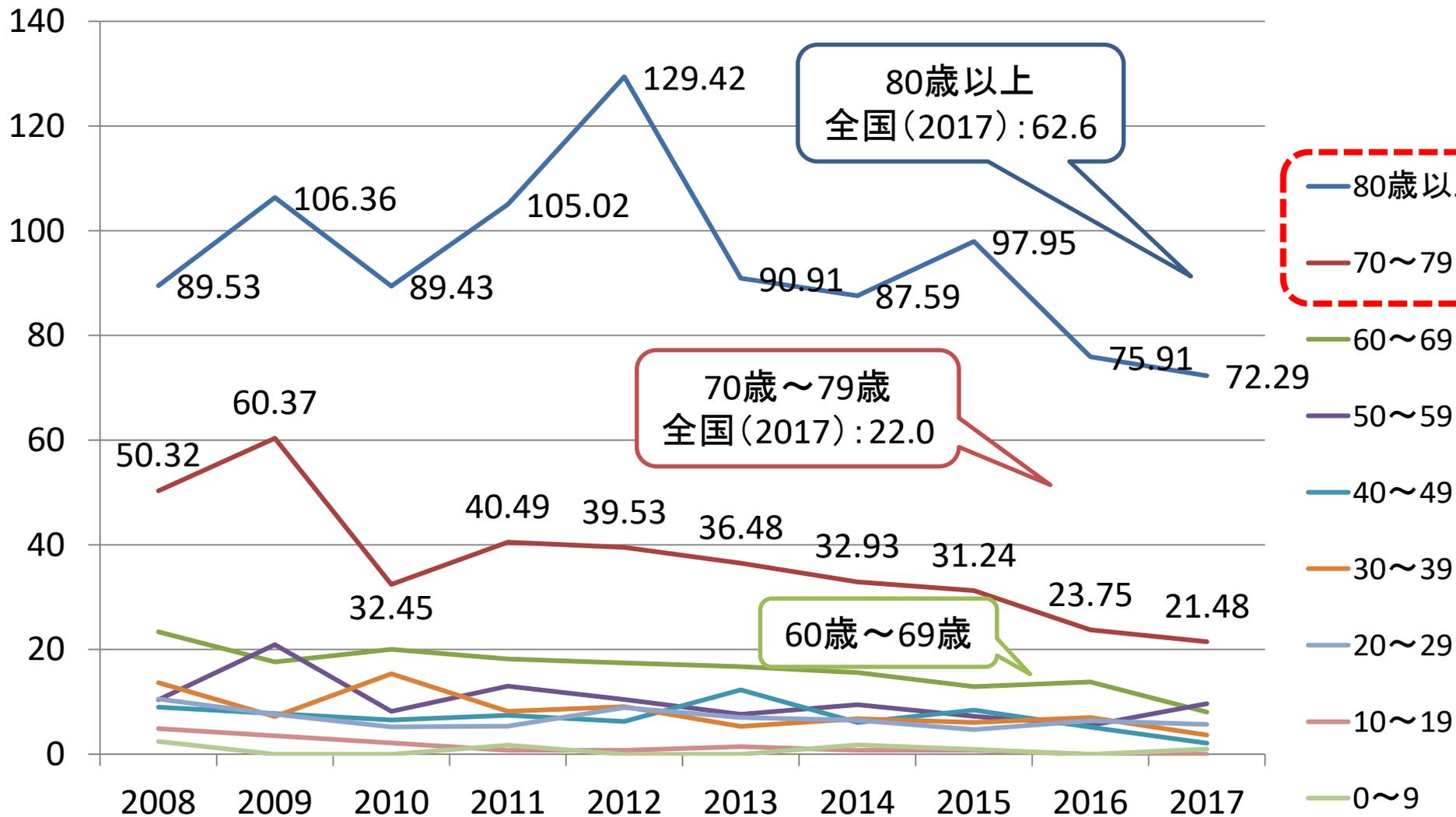
※2018年は速報値

2017(平成29)年 県内保健所別 結核登録者数及び罹患率

	新登録者数(人)	罹患率(人口10万対)
奈良市保健所	61	17.1
郡山保健所	47	13.4
中和保健所	57	10.0
吉野保健所	5	14.0
内吉野保健所	1	3.0
合計	171	12.7

南部と奈良市で高い罹患率が続いている

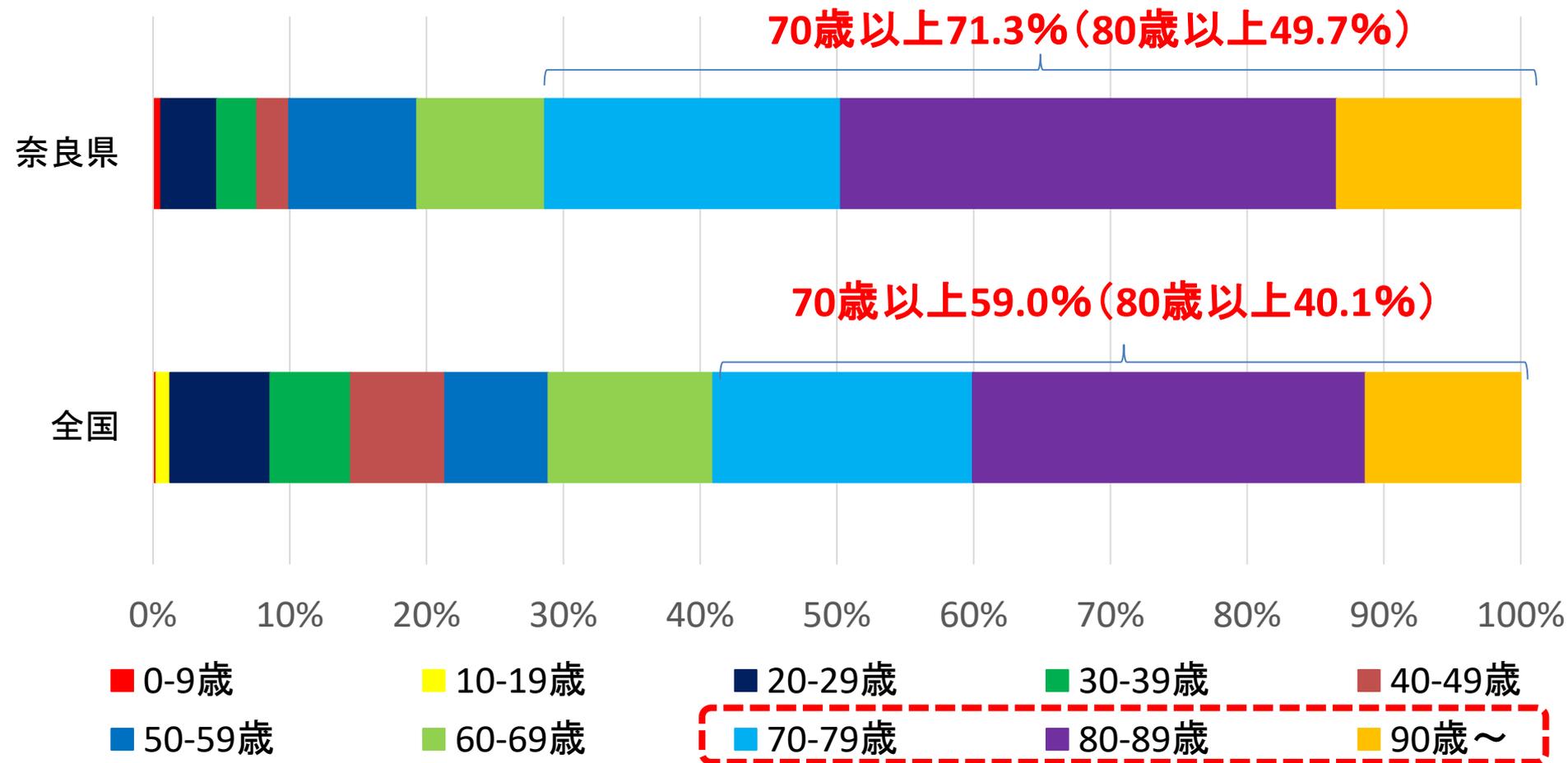
奈良県における年齢階級別結核罹患率の推移



70歳以上の罹患率が全国より高い

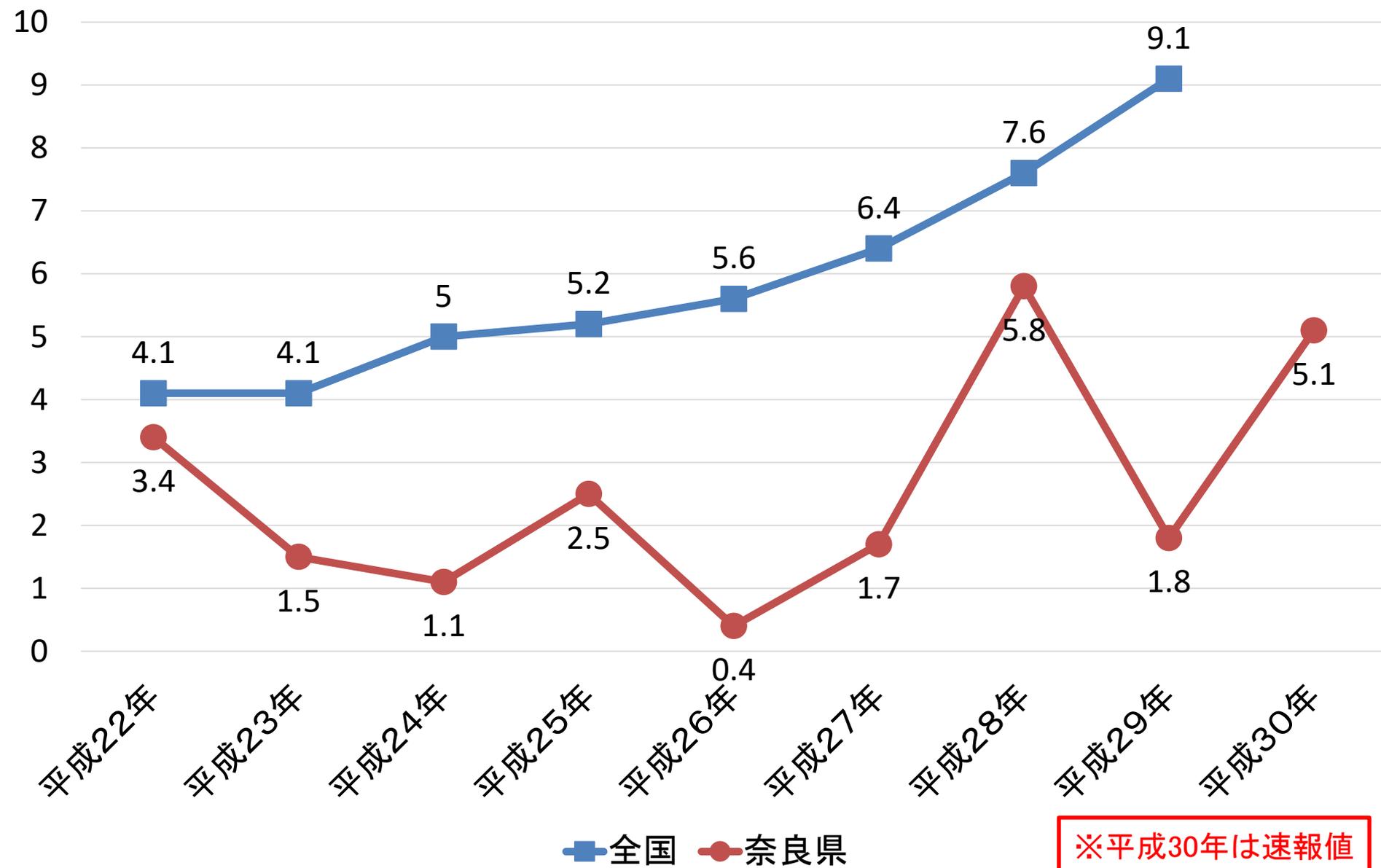
(罹患率:人口10万対)

2017(平成29)年 年齢階層別患者割合



70歳以上の患者割合が71.3%(うち、80歳以上49.7%)
であり、高齢化が顕著

新登録患者中 外国人割合の推移



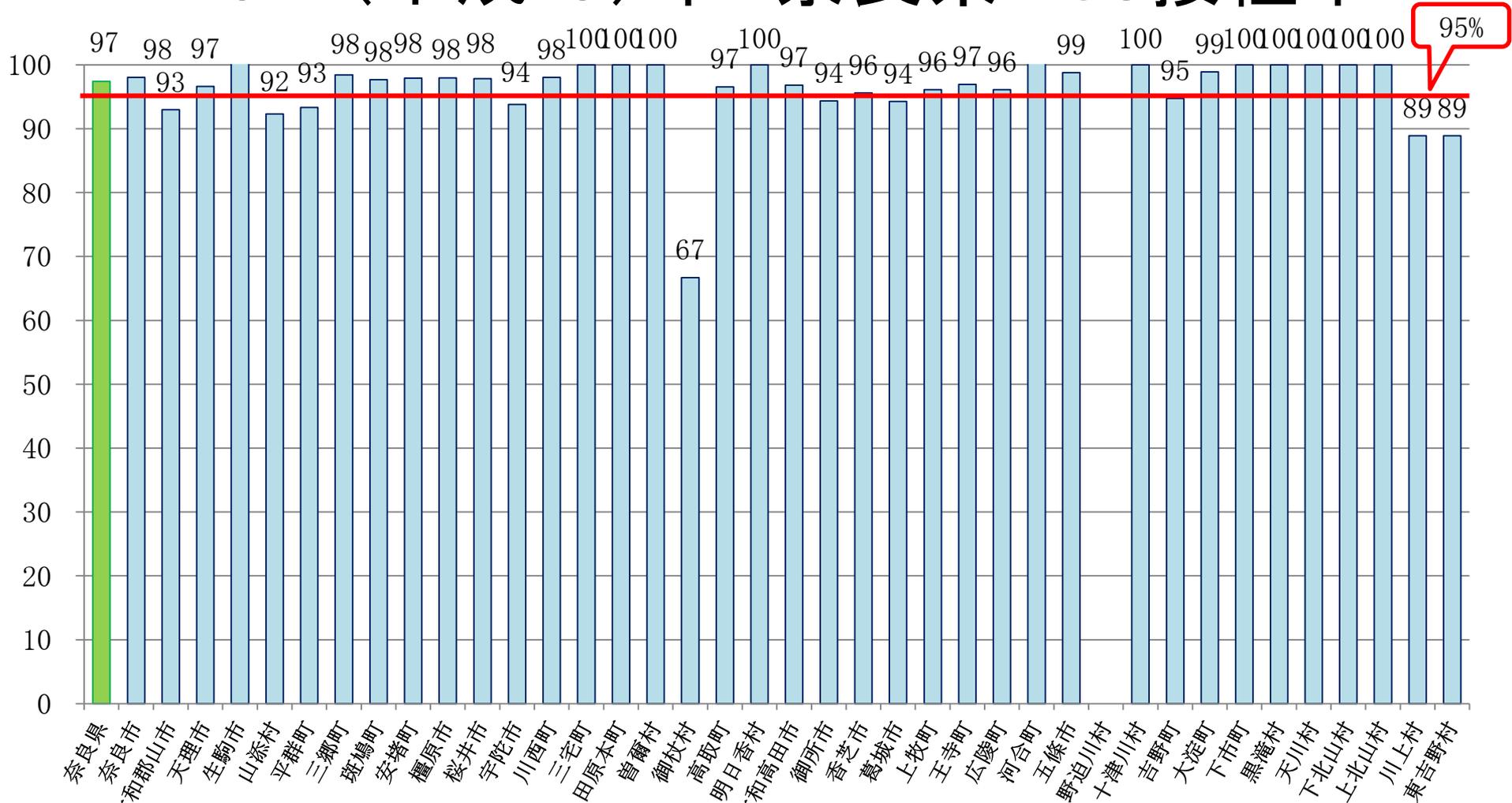
2017(平成29)年 奈良県 新登録患者数(結核病類・性別)

結核病類	新登録患者総数	内訳																			
		肺結核	気管支結核	咽頭・喉頭結核	粟粒結核	結核性胸膜炎	結核性膿胸	肺門リンパ節結核	他のリンパ節結核	結核性髄膜炎	腸結核	脊椎結核	他の骨・関節結核	腎・尿路結核	性器結核	皮膚結核	眼の結核	耳の結核	結核性腹膜炎	結核性心膜炎	その他の臓器の結核
合計	171	138	0	0	8	49	3	1	7	1	1	2	0	1	0	2	0	0	3	0	3
男	105	88	0	0	3	31	3	1	1	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	2
女	66	50	0	0	5	18	0	0	6	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2	0	1

肺結核は80.7%

なお、粟粒結核が8例と例年に比べて多くみられた

2017(平成29)年 奈良県 BCG接種率



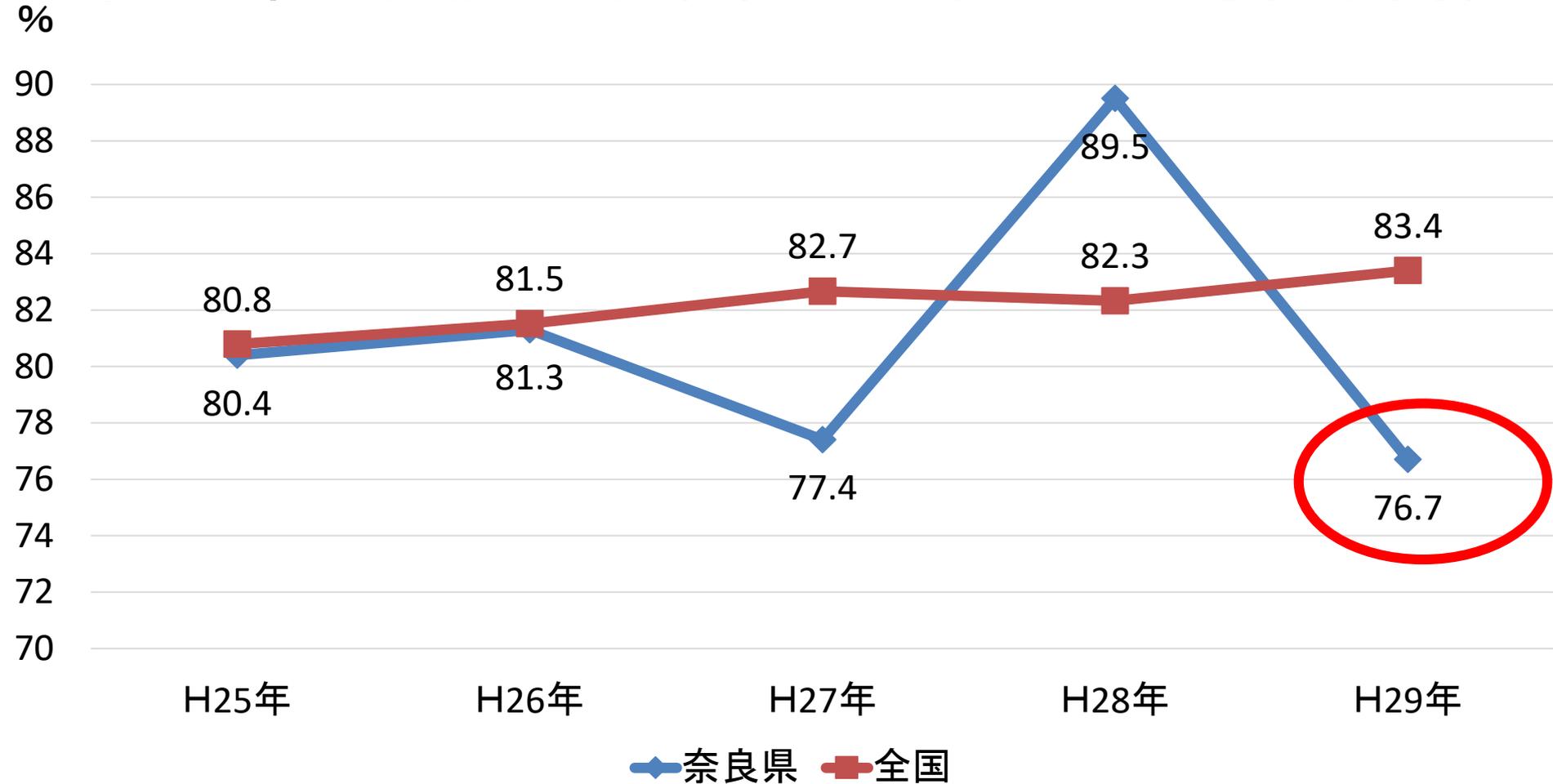
※野迫川村のBCG接種対象者はいない。

奈良県のBCG接種率は97.4%であるが、大和郡山市、宇陀市、御所市、葛城市は95%未満である。また、90%未満の市町村も見られる

②2017(平成29)年
結核における治療について

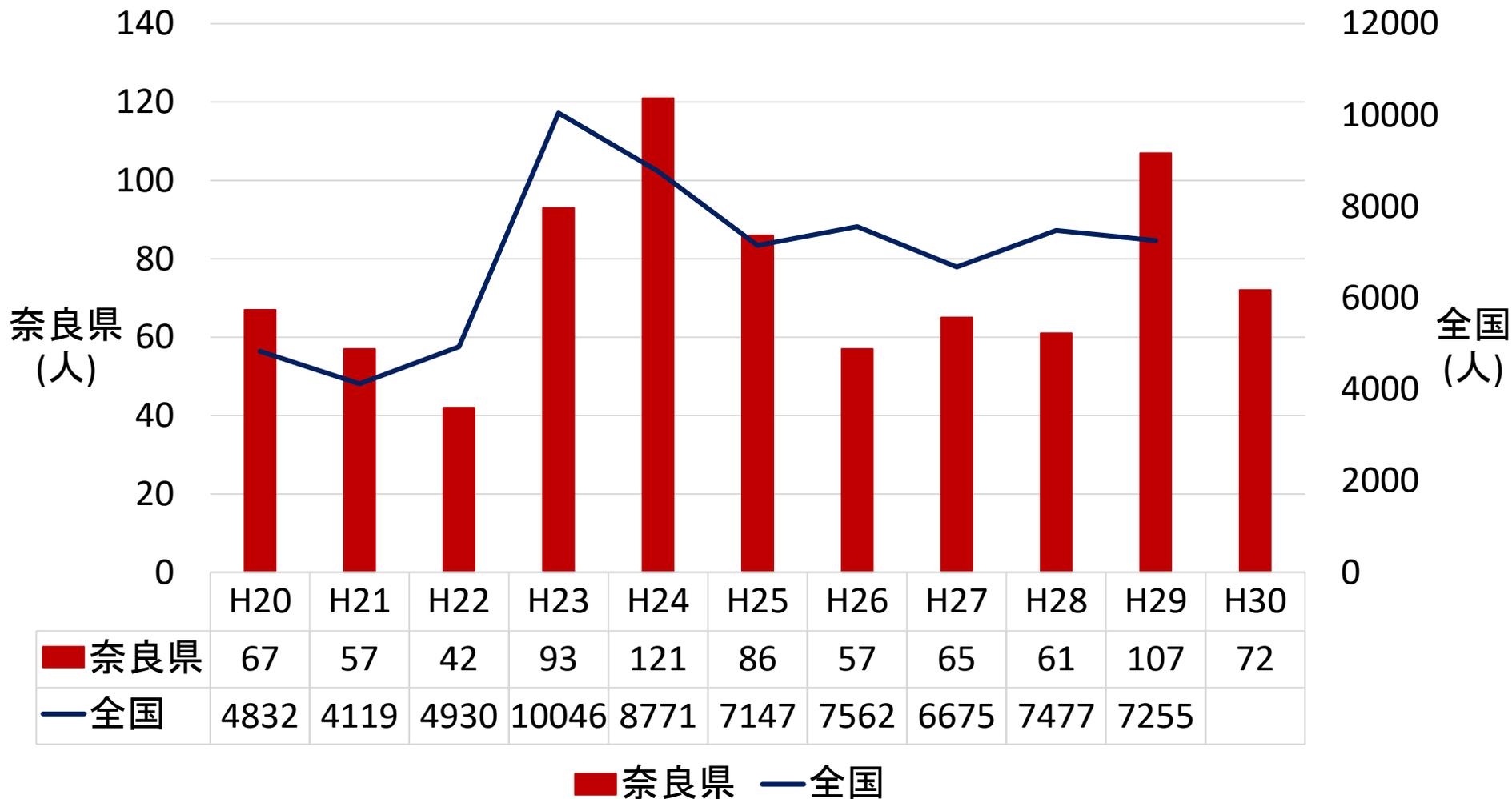
2017(平成29)年 奈良県

新登録全結核80歳未満PZAを含む4剤治療割合



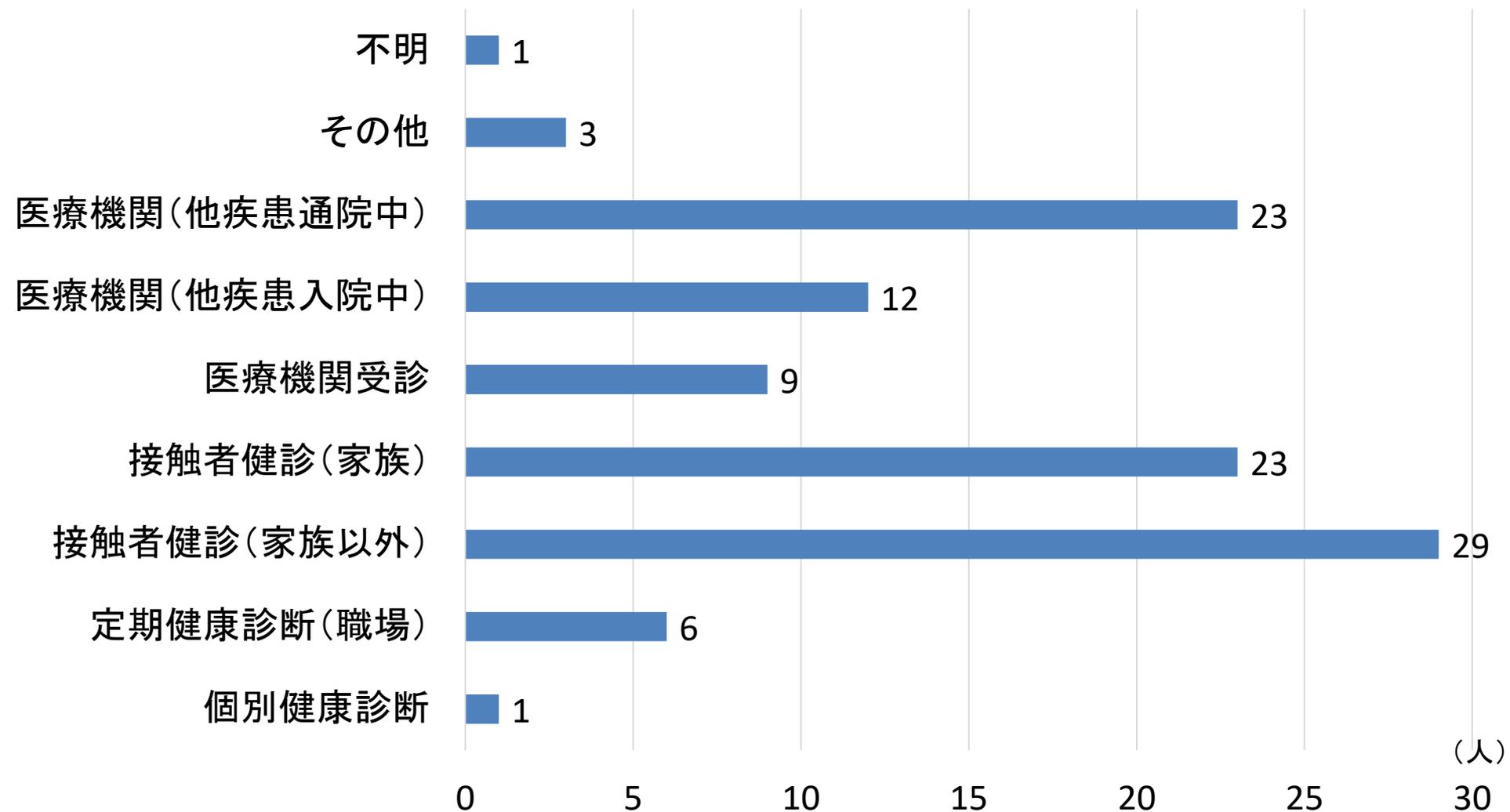
PZAを含む4剤治療割合は76.7%であり、全国より低い

潜在性結核感染症(LTBI)患者数の推移



奈良県の平成29年LTBI患者は107名であった

2017(平成29)年 奈良県LTBI発見方法



LTBI107名中接触者健診での発見率は49%であった

平成29年結核患者の発見について

①結核患者の発見方法

医療機関 87.1% (149/171)

受診 101人

他疾患入院中 24人

他疾患通院中 24人

②発見の遅れ

発病～初診2ヶ月以上の割合 13.89% (全国平均20.84%)

初診～診断1ヶ月以上の割合 23.16% (全国平均21.74%)

発病～診断3ヶ月以上の割合 16.67% (全国平均21.21%)

新規結核患者の発見方法は87.1%が医療機関で発見されている